

「妾は自慰をしてきた」とか、「こらえて下さい、こらえてね」とか言つた。

細布から、サツクと十圓札を出して、「之をあなたに上げますからね」と僕は言つたりした。

僕はへト／＼に疲れた。

可成しつくつく暴力を振るつたけれどもかなはなかつたのだ。

女の耳や頬や顔は、焼ける様に熱くなつてゐる。

「あかりをつけて、あかりをつけないところはいい」と女が叫ぶ。

知らぬ間に僕は裸になつてゐた。

寒い／＼。

ランプを灯ける。見ると病む猫の子が、鹽鯛を前につきつけられた時の目のやうに、女の目は

異様に狂的に輝いてゐた。

僕は玉げて了つた。

此の世に不自然と言ふ言葉がある。

哀訴したら蝙蝠は其の羽ばたきを、井戸の邊りに佇む或既婚者に、聞えない様に飛んでくれる